

2017年5月

## JNTO マドリード事務所開所式典を開催しました

日本政府観光局（JNTO）では、5月9日（火）、JNTO マドリード事務所の開所式典をスペイン・マドリードにて開催しました。日本からは田端国土交通審議官、瓦林観光庁審議官、スペイン側からは世界観光機関（UNWTO）リファイ事務局長をはじめ、スペインのアシアン観光庁長官、バトラー政府観光局長らスペイン政府関係者、旅行業界関係者、メディア等約120名に参加いただき、鏡開きでJNTO マドリード事務所の開所と今後の日西交流促進の発展を祈念しました。

先月のスペイン国王夫妻の日本ご訪問などにみられるように、日西両国は良好な関係にあり、双方向の年間交流人口は60万人を記録しています。2018年は日西外交関係樹立150周年にあたり、日西関係のさらなる深まりやスペイン国内での日本への関心が一層高まるものと期待されます。

松山理事長は、味や器、美しい盛りつけ、調理技術などの食の魅力、近年スペインで人気を博している盆栽、伝統と近代の融合、ハネムナーのニーズにこたえるビーチリゾートなど、日本の豊富な魅力を紹介し、ぜひ、日本を訪れてその魅力を体感いただきたいと述べました。

マドリードには、日本が理事国を務めるUNWTOの本部があり、事務所開設によりこれら国際機関とのさらなる連携強化を図ってまいります。



UNWTO、日西観光当局が集結



理事長が日本の豊富な魅力をアピール